

第6次斜里町総合計画策定委員会 第12回部会長会議 記録

1. 日 時 平成25年9月26日(木) 18:30~20:50
2. 場 所 ゆめホール 会議室 3
3. 出席者 別紙にて
4. 内 容
 - ・ 議会会期中に行われた全員協議会(総合計画に係る)の結果報告、財政課長から中期財政収支試算説明、第6次総合計画の基本構想部について議論を行った。
 - ・ 部会議論を進めてもらい、精度を高めていく事を確認した。
 - ・ 計画書の「計画の基本的事項」「社会情勢ならびに現状と課題」等は事務局で素案を作成し部会長会議等で図る事とした。
 - ・ 次回部会長会議は10/17(木) 会議室3にて開催する事となった。(当初予定16日から変更)

●会議内容<要旨>

1.開会

- ・ 門間部会長が遅れて参加する予定であったため、委員長の進行で行われた。

2.委員長挨拶

- ・ 検討期間も大詰めとなってきており、ゴールが見えてくる時期である。今日は遅れて参加する委員もいるが豁達な議論をお願いしたい。

3.経過報告

(1) 会議開催結果等

事務局より資料1~資料3をもとに、前回部会長会議から現在までの経過説明を行った。

(2) 9月定例議会での協議結果について(口頭)

馬場企画総務課長より、報告を行った。

<要旨>

- ・ 議会会期3日目全員協議会にて説明し、3人の議員より意見をもらった。
- ・ 単位施策：安定的なごみ処理の推進の内容の中で、「エコクリンセンターの早期の安定をめざし」の、「早期」の文言について、施設の今抱えている問題が文書にでていますが、計画という位置付けでという中でこのような記述はどうだろうかという意見があった。(みどり部会項目)
- ・ 単位施策：感染症対策の強化の内容の中で「流行中の感染症や結核・感染性胃腸炎～」というところで、今は確かに流行しているが、計画書の中で使用するの、適切ではないという意見があった。(いきいき部会項目)
- ・ 単位施策：地域密着型サービスの内容の中で、「必要と見込まれる認知症対応型グループホーム」の必要と見込まれるという部分 また、同じ基本施策の単位施策：介護予防活動の推進の

内容の中で、「高齢者が可能な限り地域の中で自立した」可能な限り という文言も、同様に計画書には、なじまないのではないかと意見があった。(いきいき部会項目)

- ・単位施策：特別会計等の経営基盤強化の内容の中で、「保険料や使用料等の見直しを行う等の経営基盤強化」の表現があるが「保険料や使用料等の見直し」については、将来的に必要となってくるものとは思われるが、経営基盤の強化は他にもあり、計画の中で、あまり限定されるような内容を盛り込まないほうが良いのではないかと、という意見があった。(ちょうみん部会項目)

→今後、検討し必要があれば修正していくということで、答えています。

- ・この資料、計画の内容が不確定な段階で、議会として、どの程度まで意見を言えばいいのかとの意見があった。

→7つの部会のうち、「ちょうみん部会」については、行政としての意見が反映もされていない状況、また、意見は返していますが、計画に反映されていない状況など、資料として出している計画書の見方が統一されていない中で、意見を出しづらい部分はあると思うが、よろしく審議いただきたいとお願いしたいと答弁をしています。

- ・議会との協議の持ち方の根本的な部分で意見があったところで、総合計画の基本構想・基本計画は議決事項のであり、議会として、意見をどの段階で言うのかということでは、策定過程で議会の意見を入れるべきものなのか、成案として出されたものを議案として審議するものなのかという質問があった。

→議会の権能があり、当然、提案の段階で審議していただくことになるが、このような全員協議会の場も活用しながら、自治基本条例の精神に則り、町民、行政、議会のそれぞれが相互の関係で内容を詰めていくことを基に進めてきている。議会からも、いろいろな意見の提供を受け、町民策定委員会に返していくこととしたいと答えています。

- ・自治基本条例の策定過程と今回の総合計画の策定方法は一緒ではないのではないかと。自治基本条例は町民、執行者、議会の3者が一つの枠組みの中で、それぞれの責任分野、果たすべき役割をうたっており、それぞれがその関連性の中で同時並行的に意見交換をしながら進めてきたということだと思う。総合計画は、執行者(町長)の権限の中で、先ず執行計画を作ること。それに対して議会が審議する。基本条例と総合計画の策定の流れは一緒でないのと考えていた。という意見がありましたが、

→議会の対応の仕方については、行政がどうこういう筋合いのものではないが、できるだけ行政としては、基本条例の精神に則った形で、対応していることを理解いただきたい。と答えている。

- ・策定スケジュールについての意見があり「当初、10月末に行政案を策定し、それを基にパブコメを11月1日から20日間実施し、それを受けて議会に正式提案を行う日程で進める予定であったが、熟度がまだ整っていないということで1ヶ月～3ヶ月遅れるかもしれない」という話をしている。

- ・12月又は1月に入って行政案をまとめ、1月にパブコメを実施し、1月末か3月に正式提案を考えており、3月の議会は最終目標としていることを変えるつもりはない事、その中で手続を踏んでいく中では議会日程について、ご相談させていただく部分も出てくると思うが、当然、パブコメはその中でもしっかり入れていく事になるということをお答えしている。

- ・以上が、全員協議会の主な内容であります。結果として、計画内容に対する意見は、あまり

なく議会との協議のあり方についての議論に大きく時間をついやしたという状況であった。

- ・計画の説明段階で、行政の意見が反映されているものや、反映されていないものが混在している、更に文言の修正を含め、今後も更に変更がありうる中で、意見を出しづらい、または、まだ、意見を出す段階ではないと考えている議員が多くいたものと思う。
- ・ただ、議会との協議の進め方については、一議員から意見がありましたが、今後も基本的に、これまでと同様に、一定の段階で説明・報告を行っていきたいと思っています。

<意見・質問>

- ・自治基本条例の時は、自治基本条例と議会基本条例の2本立ての考えがあり、途中で議会の項目を自治基本条例に盛り込む経緯があった、今回は中間報告としての位置付けであると議員が思っていたのではないか。
- ・いつのタイミングで議会と協議、議論をするのかが問題ではないか。
- ・議論にならなくても、議会にはどんどん情報を提供するしかないのではないか。
- ・自治基本条例の時は、議会に「つくる会」が召致された経緯もあるので、今回もいずれ呼ばれるのではないか。

4.議 事

(1) 中期財政収支試算について

塚田財政課長より資料4を用い、説明を行った。

<説明要旨> (数値説明の要旨は省略)

- ・中期財政試算は交付税の算定を受けてから公表しており、先日の議会においても説明を行ったものである。
- ・歳入の中で大きな割合を占めているのは普通交付税であり約4割を占めている。
- ・歳入において、町税等は決算額を用い算出しており、各項目算出に当たっては社会情勢（消費税率等）を勘案し算出している。
- ・試算上では、財政調整基金残額が平成29度末には、279,000千円の資産となっている。

<質問・意見> (要旨)

- ・P8 投資的事業の主な事業一覧表にある「その他事業」と一括りになっているが、ここには比較的金額が小さい事業が入っているのか。
- 金額の大小で記載しているわけではなく、各分野でおもだった事業を項目として記載している。
- ・「その他事業」の中身が気になるのは確かである。
- ・説明の中で「老人保健福祉施設整備基金」とあったが、どんな基金であるか。
- 老人施設建設のための基金であり、毎年積み立てをしている。毎年20,000千円積んでいく予定であり、現在18,000千円の残高である。
- ・総合計画で新しい老人施設の建設が出た場合、建設の項目が入る余地があるか。
- 介護計画というものがあり、3年毎に見直しをかけている。保険料の改定を含め記載のある計画であり総合計画より先に介護計画に盛り込む必要がある。
- ・総合計画は10年期間の計画であり、10年の試算を出して欲しい。
- 5年先の試算でも難しい所はある。歳出はある程度見通せるが、歳入は不確定要素が多い。歳入の約4割は普通交付税であり、国の政策で大きく変わるものであるため歳入の試算は難しい

のが現状である。

- ・財政面を考えて計画を作成しなければならないため、10年の試算が欲しい。
- 5年の試算でも難しいので、5年以降は据置きにしかならないであろう。
- ・数字で出してしまうと変な説得力を持ってしまう事があるので下手に数字を出せないのではないか。しっかりとした根拠に基づいた数字でなければ意味が無いのではないか。
 - ・想定していなかった事業が出てきた場合、財政はひっ迫するのは見て取れる。
 - ・5次計画の時も同じような議論があり、いかに基金を残せるように、何を見直すかの議論した経緯もある。
 - ・財政面でわからない所があれば、行政委員に聞きながら議論を行うのが良いのではないかと。

(2) 基本構想について

資料5を用い事務局が説明を行った。

<主な意見>

- ・基本構想等がつくと、総合計画全体で何ページぐらいになるのか。
- 約140ページを想定している。導入部、基本構想部で40ページ、基本計画部で80ページ、資料等で20ページぐらいになるのではないかと。
- ・P8に計画変更の手続きとあるが、他自治体で記載している例はあるか。
- 見たことが無いので、無いと思う。
- ・「手続き」と明記しても良いものか。「変更について」などの表現が妥当ではないか。総合計画は議決事件であるので、議会が誤解を招くのではないかと。
- 総合計画の取扱いによっても変わってくる場所ではある。総合計画に載っていない事業は予算化しない（行わない）とすると、総合計画を変更する必要がある。また、総合計画に記載していなくても事業を行う事を「良し」とするならそこまで必要が無い所になってくる。
- ・進行管理の中で多少触れる程度でもいいのではないかと。山崎先生の話の中でも「多少の自由度がある」と話していたと思うので、総合計画に記載していないからやってはいけないとまではならないのではないかと。
- 記載の方法や表現は検討します。
- ・財政計画は記載するのか。
- P5あたりに入れるか最終頁になるかを予定としている。またわかりやすいように、グラフ等を用い記載したいと思っている。先ほど意見であった様に10年後の見通しを検討しながら、前回同様大型事業の資金計画くらいは必要と思われるので作成検討いたします。
- ・現状の第6次計画は地味に思えるのだが。
- 地味で当たり前なのではないか。斜里町の大型事業は終わってくる年次になってきている。また財政も余裕のある時代ではなくなってきている。第6次計画は、自治基本条例を受けての初めての総合計画であり、この部分が「華」であり特徴なのではないか。
- ・P11に「II-2 斜里町の現状と課題」とあるが、基本計画部で各部会で作成した「現状と課題」を挙げているが、整合は大丈夫なのか。
- 部会で作成した「現状と課題」を参考にしながら作成していき、行政委員にもヒアリングしながら作成していきたいと思っている。斜里町全体としての現状と課題を記載する予定である。
- ・P10 「II-1 斜里町をとりまく社会情勢～」は行政にお任せして作成してもらわないと、町

民委員では作成できないので、お任せしたい。

→他の基本構想部とあわせて行政で素案を作成し、部会長会議等で諮りたいと思います。

・P16 「Ⅲ-4 7 の基本目標」をみると、各部会基本目標を修正しているのでバラツキが出てきた事が見てとれる。まちなみ部会は「快適なまちをめざす」となっておりシンプルである。

「快適」だけの文言で良いか。

→「快適で～」にしてしまうと、どうしても「安全安心」が出てきてしまうので、くらし部会と類似してしまうので「快適」だけにした経緯がある。

→この辺のバラツキについては、各部会で議論してもらい決めた方が良いのではないか。基本目標の文字数が多い所は短くするのかなど。

・重点プロジェクトはどうするのか。

→事務局でリストを作成し、部会長会議で揉んでもらおうと思っている。ハード的なモノは中期財政で記載されているので、ソフト的なモノになるのではないかと考えている。

・P26「Ⅲ-8 計画全体の主要指標」とあるが、この中に経済的指標を入れてはどうか。例えば、生産額など。

→行政の仕事の中には、効果が見えづらいものが多いと思う。一般市場で成り立たない事を行政が担うこともあるので、直接目に見えて数値に表れる事が少ないのではないか。

・各産業の団体等で、数字はおさえているので使えるのではないか。

→各分野の数字はあるかもしれないが、斜里町全体の目標の数値として、妥当かどうかは疑問が残るのではないか。また、1次産業は天候などの外的要因で数字（生産額等）が大きく変わってしまうので、用いる事は難しいのではないか。

・町（行政）への評価は、町民の満足度になってしまうのではないか。山崎先生の話と違ってくるが。

議論の結果、基本目標は各部会間の文字数のバランスを勘案してもらい議論してもらおう事とし、基本構想部は事務局にて素案を作成し部会長会議に諮ることとした。

(3) その他

<部会議論についての要望>

・部会議論の中で、行政委員が「執筆していないから、なんでこうなったのかは解らない」等の意見を出す行政委員が見られるので、行政内で意見・意思の統一を図ってから、執筆や部会参加して欲しい。部会議論が先に進みづらいのでお願いしたい。

<議会への提出について>

・議会には、随時情報提供として進行報告をしていくのか。

→定例、臨時議会問わず、進捗状況を出していくつもりである。順番としては恐らく、素案、原案、成案の順で提出していく事になると思う。

<次回部会長会議について>

当初、10月16日に予定していたが、都合により17日に変更したい旨を事務局より提案、異論なく次回部会長会議は10月17日（木）18：30～ゆめホール 会議室3にて開催する事となった。

以上

(20：50 終了)

第6次斜里町総合計画策定委員会 第12回部会長会議 出席者名簿

◇ 委員 ◇

役 職	氏 名	出 欠	備 考
委員長	三浦 勝利	○	
副委員長	門間 哲也	○	
みどり部会長	下山 誠	○	
しごと部会長	高橋 秀典	×	
まちなみ部会長	元木 誠二	×	
くらし部会長	戎居 桂三	○	
いきいき部会長	梅村真由美	○	
まなび部会長	近藤 将人	○	
ちょうみん部会長	武山 俊一	○	代理 清水委員

◇ 事務局 ◇

役 職	氏 名	出 欠	備 考
総務部長	北 雅裕	○	
企画総務課長	馬場 龍哉	○	
企画係長	河井 謙	○	
企画係	竹川 彰哲	○	
企画係	塩 幸也	○	

◇ オブザーバー ◇

役 職	氏 名	出 欠	備 考
財政課長	塚田 勝昭	○	

◇ 一般傍聴 ◇

所 属	氏 名		備 考